

## 西学区 災害ボランティア結集する！

■7月8日(日)朝から小雨。全市に大雨警報の発令。8:00に今日の「西学区災害ボランティア活動」について金藤会長と協議し「天候はどうであれ災害地域へは素早く行ってあげるのが防災の心だ」と、決行に決まりました。

■10:00 佐波公園を開会行事の会場に、前日に各町内会長が声を掛けた災害ボランティアが雨の中を58名結集しました。まず、金藤会長・徳山委員長が挨拶、井上町内会長・松浦さんが災害の様子を詳しく話されました。

次に、浸水の被害に会われた家の後片付けは佐波のみなさんが手分けをして作業に行かれました。ボランティアは災害の状況を全員で視察しました。

\* 山肌がむき出して大雨の時は滝のように水が落ちる恐怖を語られた。

\* 土石流が起きかねない谷川

\* 住宅のブロック塀が倒壊した現場

\* 山肌が崩れて土砂が道をふさいだ現場

\* 地域の人たちが避難所としている近大高校6号館

\* 大洪水でいつも床上浸水をする現場

等々を見て自然の猛威の恐ろしさにおどろくばかりでした。



■11:00 神島町の第一ポンプ場横で畑(前)町内会長から挨拶とボランティア作業の内容、作業チームの班分けについての話がありました。1班5名の8グループに分けて、沢山のゴミ袋・土のう袋・雑巾を持って被災されたお宅へ向かいました。

\* どの家も人の腰を超えるくらいまで浸水しさまざまなものが水をかぶり手の付けようのない有様でした。家の人や親戚・友人・近所の人が朝から片付けていました。

\* ボランティアは濡れてもいい服装・長靴・軍手に身を包み、まずゴミ出し、そしてソファ・冷蔵庫・布団・タンスなどを手際よく外に出しました。必要なものと不要なものは家の方に聞きながら作業を進めました。

\* ゴミは町内が手配した11台のトラックに積んで箕の沖まで運びます。



■13:30 あらかた片付くと当家の人は「後は自分たちでします」と言われましたが、「今日は大勢で来てるから心配いらんよ」と言って最後まで続けました。大量のゴミは手配済みのトラックにみんなで乗せ、終りにお家の方々にお見舞いと励ましの挨拶を皆で言って、お別れしました。

作業が終わるのを待って、神島神社の前で閉会をしました。金藤会長の心のもったボランティアへの挨拶と畑(前)町内会長のお礼の挨拶を受け、皆さんは炊き出しを受取り、自主防始まって以来のボランティア活動で喜びの内に解散しました。

同じ西学区の仲間の悲しみを同悲同苦出来たことを厚く感謝申し上げます。